

## 第141回エイズ動向委員会

## 委員長コメント

## 《平成27年第1四半期》

## 【概要】

1. 今回の報告期間は平成26年12月29日～平成27年3月29日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は221件（前回報告265件、前年同時期243件）  
そのうち男性203件、女性18件で、男性は前回（254件）及び前年同時期（229件）より減少、女性は前回（11件）及び前年同時期（14件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は100件（前回報告117件、前年同時期89件）  
そのうち男性94件、女性6件で、男性は前回（111件）より減少、前年同時期（87件）より増加、女性は前回（6件）で同数、前年同時期（2件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は321件

## 【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
  - 同性間性的接触によるものが146件（全HIV感染者報告数の約66%）
  - 異性間性的接触によるものが46件（全HIV感染者報告数の約21%）  
そのうち男性35件、女性11件
  - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが1件）
  - 母子感染によるものは0件
  - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
  - 同性間性的接触によるものが58件（全AIDS患者報告数の58%）
  - 異性間性的接触によるものが23件（全AIDS患者報告数の23%）  
そのうち男性20件、女性3件
  - 静注薬物によるものは1件（うち、その他に計上されているものが0件）
  - 年齢別では、30～40代が多い。

## 【検査・相談件数の概況（平成27年1月～3月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は23,778件  
（前回報告確定値28,752件、前年同時期確定値27,478件）  
自治体を実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,667件  
（前回報告確定値8,817件、前年同時期確定値8,011件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は32,602件  
（前回報告確定値38,181件、前年同時期確定値37,217件）

## 【献血の概況（平成27年1月～3月）】

1. 献血件数（速報値）は、1,246,253件（前年同時期速報値1,254,924件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は15件（前年同時期速報値20件）  
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.204件（前年同時期速報値1.594件）

## 《まとめ》

1. 前回に比し、新規H I V感染者報告数、新規A I D S患者報告数は減少した。
2. 新規H I V感染者は20～30代、新規A I D S患者は30～40代で報告数が多いが、10～90代までの幅広い年齢層において報告が認められた。性別・年齢を問わず、H I Vに感染する可能性がある。適切な予防策により感染を予防することが可能であり、また重要である。
3. 6月1日～7日はH I V検査普及週間である。早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、今後も保健所等の無料・匿名H I V抗体検査および相談を積極的に利用していただきたい。